

ユネスコスクールの日制定！

毎年1月17日は、ユネスコスクールの日



1月14日、大牟田市のユネスコスクールのあゆみに、また一つ新たな歴史が刻まれました。この日、市制100周年「大牟田市ユネスコスクールの日」制定記念事業として、大牟田市長中尾昌弘様、大牟田市議会議長境公司様、文部科学省大臣官房国際課長句坂克久様をはじめ、多くの来賓の方々のご出席のもと、制定記念式典が挙行されました。大牟田市教育委員会安田昌則教育長のあいさつでは、「地方自治体としてユネスコスクールの日を制定したのは、わが国初だと思います」とあり、まちを挙げて、ESDに取り組む大牟田市の活動が全国に向けて発信されました。このことは、現在、大牟田市が進めている「『人』に焦点をあてたまちづくり」にも合致しています。

また、市内の小中学生代表4名によるユネスコスクールの日制定宣言もなされ、これから先のESDの取組に際し、新たな決意を示すものとなりました。

ユネスコスクールの日制定宣言

- 一、私たちは、人と人とのつながりを大切にします。
- 一、私たちは、学校から地域へ、地域から世界へ、つながりの輪を広げていきます。
- 一、私たちは、過去から現在までのつながり、現在から未来へのつながりを大切にします。
- 一、私たちは、希望ある未来を創るため、学び続けるとともに、自分にできることから行動します。

制定記念講演

大いなる夢を宇宙に向けて！

ユネスコ
スクールの日
制定特集号



ユネスコスクールの日制定を記念して、JAXA 宇宙航空研究開発機構で、国際宇宙ステーション計画の立ち上げに参加された柳川孝二先生による記念講演が行われました。

▲講演：JAXA 柳川孝二先生



講演では、宇宙の広さについて子どもたちと一緒に模型等を使って、分かりやすく説明をしていただいたり、宇宙飛行士の宇宙での生活の様子をスライドを使って、身近な生活と関連付けてお話をいただいたりするなど、子どもたちの関心を引き付けた内容でした。

また、宇宙飛行士の選抜に携われた経験をふまえ、宇宙飛行士に必要な資質や能力について興味深いエピソード等をもとにお話をいただきました。特に、若田光一飛行士の「夢・探求心・思いやり」という言葉は、子どもたちの心に響いたことでしょう。子どもたちが今後、生きていくための羅針盤として心の支えになることを願っています。

各学校における記念事業

1月17日を中心とした一週間を「ユネスコスクール週間」として、各校で様々な取組が行われました。記念集会で校長先生が、ユネスコスクールやESDの取組について講話をされた学校、これまでの活動の成果を地域の方々等に公開された学校など、学校の特色を生かした取組が展開されました。これらの取り組みは、一冊の冊子としてまとめられる予定となっています。ユネスコスクール便りでは、いくつかの学校の取組を、今後、紹介する予定です。

